

入門ミクロ経済学Ⅰ

科目ナンバリング ECT-101
選択必修 2単位

中西 宏太

1. 授業の概要(ねらい)

本講義は、家計や企業の意思決定と特定の市場におけるそれらの相互作用を研究対象とする、ミクロ経済学の入門講座である。オーソドックスなミクロ経済学的な視点、分析概念の基礎を学習する。いくつかの用語を覚える必要があるが、基本的には理論をただ覚えるのではなく、大枠と視点を理解することを主眼に授業を進めていきたい。基本的に数学的手法は使わない。

2. 授業の到達目標

ミクロ経済学の基礎的な分析概念・用語を理解することによって、現代社会を(ミクロ)経済学的な視点から見られるようになることを到達目標とする。

3. 成績評価の方法および基準

出席状況を鑑みつつ、2回の小テスト(50点)と期末試験(50点)において評価を行う。

4. 教科書・参考文献

教科書

N・グレゴリー・マンキュー 『マンキュー経済学ミクロ編(第3版)』(2013年) 東洋経済新報社

5. 準備学修の内容

授業前に該当する章を読んでおくこと(30分くらいは必要)。授業後に簡単に良いので復習をしておくこと。

6. その他履修上の注意事項

7. 授業内容

【第1回】 オリエンテーション:授業の進め方/評価基準説明

第1部:イントロダクション 経済学の十大原理

【第2回】 1章:イントロダクション 経済学の十大原理(続き)

【第3回】 2章:経済学者らしく考える

【第4回】 2章:補論グラフの用法・因果関係

【第5回】 3章:相互依存と交易(貿易)からの利益

【第6回】 復習・小テスト

【第7回】 第2部:市場はどのように機能するか

第4章:市場における需要と供給の作用

【第8回】 5章:弾力性

【第9回】 6章:需要、供給、および政府の政策

【第10回】 復習・小テスト

【第11回】 第3部:市場と更生

第7章:消費者、生産者、市場の効率性

【第12回】 8章:課税の費用

【第13回】 9章:国際貿易

【第14回】 第4部:公共部門の経済学

10章:外部性

【第15回】 復習・テスト